

# 平成 26 年度決算報告について

## 平成 26 年度決算報告の要約

### ◆社会福祉法人 足羽福祉会（法人全体）

監査報告書  
注記（法人全体）

#### 財務諸表

様式

法人全体

資金収支計算書

1 号の 1 様式

事業活動計算書

2 号の 1 様式

貸借対照表

3 号の 1 様式

事業区分別：社会福祉事業及び公益事業

資金収支内訳表

1 号の 2 様式

事業活動内訳表

2 号の 2 様式

貸借対照表内訳表

3 号の 2 様式

#### 附属明細書

借入金明細書

別紙①

寄附金収益明細書

別紙②

補助金事業収益明細書

別紙③

事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書

別紙④

事業区分間及び拠点区分間貸付金（借入金）残高明細書

別紙⑤

基本金明細書

別紙⑥

国庫補助金等特別積立金明細書

別紙⑦

#### 財産目録

法人全体

別紙 5

### ◆社会福祉事業区分（拠点区分別：公営事業は 1 拠点の為省略）

#### 財務諸表

社会福祉事業区分 資金収支内訳表

1 号の 3 様式

社会福祉事業区分 事業活動内訳表

2 号の 3 様式

社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表

3 号の 3 様式

### ◆各拠点区分

注記（拠点区分用）

#### 財務諸表

資金収支計算書

1 号の 4 様式

事業活動計算書

2 号の 4 様式

貸借対照表

3 号の 4 様式

#### 附属明細書（該当がない拠点区分は省略。）

基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

別紙 1

引当金明細書

別紙 2

拠点区分 資金収支明細書（足羽学園拠点区分のみ）

別紙 3

拠点区分 事業活動明細書

別紙 4

積立金・積立資産明細書

別紙⑧

サービス区分間繰入金明細書（あすわ相談支援センター拠点区分のみ）

別紙⑨

就労支援事業別事業活動明細書

別紙⑩

就労支援事業別事業活動明細書（多機能事業所等用）

別紙⑫

就労支援事業別製造原価明細書（多機能事業所等用）

別紙⑭

就労支援事業別販管費明細書（多機能事業所等用）

別紙⑯

就労支援事業明細書

別紙⑰

就労支援事業明細書（多機能事業所等用）

別紙⑱

## 各拠点区分名

### 社会福祉事業

- ① 法人本部 拠点区分
- ② 足羽東保育園 拠点区分
- ③ あすわ就労支援センター 拠点区分
- ④ 足羽学園 拠点区分
- ⑤ 足羽更生園 拠点区分
- ⑥ あすわ相談支援センター 拠点区分
- ⑦ あすわ地域生活支援センター 拠点区分
- ⑧ あすわ児童発達支援センター 拠点区分
- ⑨ 愛全園 拠点区分
- ⑩ 足羽利生苑 拠点区分
- ⑪ グループホーム美山 拠点区分

### 公益事業

- ⑫ ボランティア育成事業 拠点区分



## 平成 26 年度決算報告の要約

### 1. はじめに

- ▶ 当法人は平成 25 年度予算より、「社会福祉法人会計基準の制定について（平成 23 年 7 月 27 日 雇児発 0727 第 1 号・社援発 0727 第 1 号・老発 0727 第 1 号 局長連名通知）」で通知された新しい会計基準（以下、「新基準」という。）で編成されています。

### 2. 資金収支計算書

項 目	法人全体 【単位:千円】			
	予算額(2次補正後)	決 算 額	差異 (予算-決算)	達成率/執行率
事業活動収入	2,498,092	2,493,817	4,275	99.8%
事業活動支出	2,250,167	2,188,354	61,813	97.3%
事業活動資金収支差額	247,925	305,463	△ 57,538	123.2%
施設整備等収入	450	859	△ 409	191.0%
施設整備等支出	241,426	227,973	13,453	94.4%
施設整備等資金収支差額	△ 240,976	△ 227,113	△ 13,863	94.3%
その他の活動等収入	140,953	142,938	△ 1,985	101.4%
その他の活動等支出	175,180	244,123	△ 68,943	139.4%
その他の活動等資金収支差額	△ 34,227	△ 101,185	66,958	295.6%
予備費	0	0	0	—
当期資金収支差額	△ 27,278	△ 22,835	△ 4,443	83.7%
前期末支払資金残額	600,593	600,593	0	100.0%
当期末支払資金残額	573,315	577,757	△ 4,443	100.8%

- ① 「事業活動による収支」では、収入は達成率 99.8%、支出は執行率 97.3%です。  
収入、支出ともに法人全体では予算内に収まっていますが、予算単位である各拠点区分において、金額的に重要な大科目での予算超過に関しては別途記載してありますので、合わせて承認願います。
- ② 「施設整備等による収支」では、収入は足羽学園で送迎バス入替に伴う下取車売却が増えた結果 191.0%。支出は主にグループホーム美山によるものですが、工事完了に伴う科目変更や、各拠点で既存資産状況により購入を持ち越したものもあり達成率は 94.4%です。
- ③ 「その他の活動による収支」では、収入はグループホーム美山に関する積立資産取崩が 135,800 千円、退職者に対する退職給付引当資産取崩が 5,630 千円で 101.4%、支出は、退職給付積立資産支出が 13,145 千円、2次補正までに承認いただいている積立金支出が 155,000 千円、当決算での追加積立資産が 69,000 千円の合せて 224,000 千円で 139.4%の執行率となっています。決算後追加可能な積立資産については拠点別に記載してありますので、合わせて承認願います。  
なお、決算後追加可能な積立資産の判断基準として各拠点での期末普通預金残高を別表 1 の通り設定しました。
- ④ 上記の結果、当期資金収支差額は、予算差額 4,443 千円減の△22,835 千円となり、前期末支払資金残高 600,593 千円と合わせまして 577,757 千円が次期資金として繰り越されることとなりました。

\*別表1 期末時点における普通預金残高設定金額（積立可能拠点のみ記載:単位千円）

足羽東保育園	あすわ就労支援センター	足羽学園	足羽更生園	愛全園	足羽利生苑
10,000	15,000	10,000	15,000	40,000	35,000

※入金時期 保育園 21日、障がい福祉サービス 15日、介護報酬 26日 ※出金時期 給与 21日、請求支払 末日

【大科目での予算超過かつ各拠点において金額的に重要性が高い項目】※数値は「予算-決算」○数字は拠点の番号

②足羽東保育園

「その他の活動による収支-積立資産支出」 △4,974千円

決算後可能積立として、平成29年度以降 園舎建替資金5,000千円（確保資産は定期預金）

③あすわ就労支援センター

「事業活動による収支-一人件費支出」 △4,523千円、「事務費支出」△7,431千円

就労支援事業支出との負担見直しなど

「その他の活動による収支-積立資産支出」 △14,083千円

決算後可能積立として、平成27年度補正予定生活介護事業所新設15,000千円

（確保資産は普通預金）

④足羽学園

「その他の活動による収支-積立資産支出」 △2,905千円

決算後可能積立として、平成28年度～園舎全面改修工事資金3,000千円（確保資産は普通預金）

⑤足羽更生園

「その他の活動による収支-積立資産支出」 △5,849千円

決算後可能積立として、平成28年度～園舎全面改修工事資金6,000千円（確保資産は普通預金）

「その他の活動による収支-その他の活動による支出」 △3,941千円

足羽学園への前年度給食受託料返還（食数2重計上ミス）

⑥あすわ相談支援センター

「事業活動による収支-一人件費支出」 △1,392千円

当初予算時、兼務事務職員按分率過小計上

⑦あすわ地域生活支援センター

「事業活動による収支-一人件費支出」 △6,693千円

看護師、世話人中途採用増

⑨愛全園

「その他の活動による収支-積立資産支出」 △25,843千円

決算後可能積立として、平成30年12月 長期借入一括返済（任意）資金25,000千円

（確保資産は普通預金）

⑩足羽利生苑

「その他の活動による収支-積立資産支出」 △15,269千円

決算後可能積立として、平成29年度以降 本館ユニット化改修工事資金15,000千円

（確保資産は普通預金）

⑫ボランティア育成事業

「事業活動による収支-事業費支出」 △783千円

完走者景品としてフィニッシュタオルを追加 745千円

### 3. 事業活動計算書

項 目		法人全体 【単位:千円】			
		当年度決算額	前年度決算額	差引増減額	前年比
	サービス活動収益	2,481,573	2,258,493	223,080	109.88%
	サービス活動費用	2,363,278	2,211,787	151,491	106.85%
	サービス活動増減差額	118,295	46,707	71,589	253.27%
	サービス活動外収益	12,265	8,596	3,670	142.69%
	サービス活動外費用	3,817	3,287	530	116.12%
	サービス活動外増減差額	8,448	5,308	3,140	159.15%
	経常増減差額	126,744	52,015	74,729	243.67%
	特別収益	132,223	100,332	31,891	131.79%
	特別費用	204,771	147,039	57,732	139.26%
	特別増減差額	△ 72,548	△ 46,707	△ 25,840	155.32%
	当期活動増減差額	54,196	5,308	48,888	1021.05%
	前期末繰越活動収支差額	2,098,638	2,314,130	△ 215,492	90.69%
	当期末繰越活動収支差額	2,152,834	2,319,438	△ 166,604	92.82%
	その他の積立金取崩額	140,790	0	140,790	0.00%
	その他の積立金積立額	224,000	220,800	3,200	101.45%
	繰越活動増減差額	2,069,624	2,098,638	△ 29,014	98.62%

- ① 「サービス活動増減の部」では、収益では新規事業をはじめた介護保険事業(グループホーム美山8月～)、障害福祉サービス等事業(グループホーム1棟、フレンズあすわ年間稼働)が増益となった一方で、児童福祉事業(足羽学園・措置費収益)では園児卒園に伴い減少したことによる影響で減収となりました。増減差額は118,295千円と前年の大幅減より回復し例年並みの成績となっています。
- ② 「サービス活動外増減の部」では、収益として講師謝礼、自販機売上及び手数料(利用者訓練以外)、特定求職者雇用開発助成金及び保険金等が、費用として法人本部及び愛全園の借入資金に対する利息支払いを計上しています。
- ③ 「特別増減の部」で、「その他の特別収益」及び「その他の特別損失」に計上されている主な内容は、後述します固定資産の登録見直しに関する処理です。また、グループホーム美山の国庫補助金等特別積立金積立額70,800千円に対する施設整備等補助金収益は前年度に計上済みですが、先日の福井市指導監査にて本来なら当年度に計上すべきと文書指導を頂いています。それを加味すると特別増減差額は△1,747千円となります。
- ④ 「繰越活動収支差額の部」では、前年度の足羽学園での取崩不足(前年度積立資産のみ取崩)4,990千円とグループホーム美山に対する取崩135,800千円を行い、積立については前述の資金収支で説明しました積立資産と同額の224,000千円を積立しています。

#### \* 主な経営指標の推移

項 目		平成26年度	平成25年度	平成24年度
収益性	【総資産対経常増減差額】率	2.96%	1.23%	3.26%
	「施設経営の効率性」を示す指標です。			
	【サービス活動収益対サービス活動増減差額】率	4.77%	2.07%	5.70%
	営利企業における「売上高営業利益率」に相当します。			
	【サービス活動収益対人件費】率	68.29%	70.46%	65.95%
	福祉サービスで大きな割合を占める人件費の割合を示します。			

平成25～26年度人件費率は 人件費＝人件費+労務費(就労支援事業費用)としています。

#### 4. 貸借対照表

項 目		法人全体 【単位:千円】			
		当年度決算額	前年度決算額	差引増減額	前年比
資 産	流動資産	694,580	732,510	△ 37,929	94.8%
	固定資産	3,580,458	3,508,883	71,574	102.0%
	基本財産	2,701,171	2,714,685	△13,514	99.5%
	その他の固定資産	879,287	794,198	85,088	110.7%
	資産の部 合計	4,275,038	4,241,393	33,645	100.8%
負 債	流動負債	314,933	317,344	△ 2,411	99.2%
	固定負債	398,971	430,277	△ 31,306	92.7%
	負債の部 合計	713,904	747,621	△ 33,717	95.5%
純 資 産	基本金	155,158	155,158	0	100.0%
	国庫補助金等特別積立金	972,107	958,941	13,066	101.4%
	その他の積立金	364,245	281,035	83,210	129.6%
	次期繰越活動収支差額	2,069,624	2,098,638	△ 29,014	98.6%
	(うち当期活動収支差額)	(54,196)	(5,307)	(48,888)	1021.1%
純資産の部 合計	3,561,134	3,493,772	67,362	101.9%	
負債及び純資産の部 合計		4,275,038	4,241,393	33,645	100.8%

① 『資産の部合計』は前年比 100.8%/33,645 千円増ですが、構成割合に注目すると、前年度に比べ流動資産（普通預金）から、固定資産である積立資産（多くが定期預金等で確保済）へと振替えられています。これは、社会福祉法人を取り巻く昨今の要請に応えるためで、将来に対する投資を中長期に明確にし、積立を行ったためです。結果、流動比率は前年から微減の 220.6%ですが、それでも短期的な支払能力としては必要十分な資金を保持しています。

また、平成 24 年度には、愛全園の建替えに伴う見直し、平成 25 年度には新基準への移行に伴う再計算、当年度は全資産について統一した法定耐用年数の適用及び新しい固定資産管理システムへの再登録を行いました。結果（別表 2 参照）、償却資産全体で期首帳簿価額が 3,281 千円減少、国庫補助金等特別積立金は 6,366 千円減少しています。固定資産は、平成 24 年以前は施設にてそれぞれ登録されていましたが、今後は法人にて統一した登録運用を行っていきます。

② 『負債の部合計』は、前年比 95.5%/33,717 千円減ですが、減少要因としては金融機関からの短期借入金返済を 24,000 千円、長期借入金返済を 40,990 千円予定通りに行ったことがあげられ、また逆に人員増による賞与引当金の増加、経過年数が 1 年増えたことによる退職給付引当金の増加も見られます。

③ 『純資産の部合計』では、前年度取崩を失念した足羽学園の件費積立資産及びグループホーム美山建設に関わる積立金取崩を予定通り行い、また、将来に対する投資及び次年度に対する備えとして前述の積立資産と同額を積み立てました。

\* 主な経営指標の推移

項 目		平成26年度	平成25年度	平成24年度
安 全 性	<b>純 資 産 比 率</b>	83.3%	82.4%	84.7%
	一般的には「自己資本比率」ともいい、経営の安定性を示す指標です。			
	<b>流 動 比 率</b>	220.6%	230.8%	395.4%
	短期的な支払能力を示す指標です。150%以上が望ましいとされています。			
<b>固 定 長 期 適 合 率</b>	90.4%	89.4%	80.7%	
固定資産のうちどの程度が長期性の資金(自己資本+固定負債)で賄われているかを示す指標です。100%以下が望ましいとされています。				

\* 別表2 期首時点における帳簿価額の増減

種類	勘定科目	前年度末	耐用年数等の見直し	当年度期首	主な変更内容
基本財産	建 物	2,677,087,051	△ 11,847,405	2,665,239,646	建物に関しては、取得日がそれ以前であっても、平成10年4月に定められた法定耐用年数を使用する。ただし、国庫補助金取壊制限期間はそれ以上である場合があることに注意する。また、平成19年3月31日以前の建物に施された資本的支出については本体取得価額に加算する方法をで処理している。 基本財産—建物 介護老人施設 病院用 愛全園 47年→39年(H23以前は39) 入所施設 寄宿舎用 足羽学園・足羽更生園 39年→47年 足羽ワークセンター 39年→47年※ (※主な用途による) 他、全資産について同種類の資産は全て同じ法定耐用年数とし、新しい固定資産管理システムにて取得時に遡り再計算を行った。
その他	建 物	49,463,170	5,141,469	54,604,639	
その他	構 築 物	81,395,690	758,303	82,153,993	
その他	機械及び装置	23,405,958	1,014,810	24,420,768	
その他	車輛運搬具	18,248,075	△ 503,878	17,744,197	
その他	器具及び備品	179,209,597	2,159,538	181,369,135	
その他	有形リース資産	742,595	△ 14,630	727,965	
その他	権 利	2,343,694	8,982	2,352,676	
その他	ソフトウェア	9,477,092	1,325	9,478,417	
	償却資産 計	3,041,372,922	△ 3,281,486	3,038,091,436	
	国庫補助金等特別積立金	965,307,593	△ 6,366,262	958,941,331	